



SEASON 春

テーマ:手紙



出会いと別れの季節ですね。普段、「ラインで気持ちは伝えているよ」という人も多いかもしれませんが、大切な人に手紙を出してみませんか？



『ツバキ文具店』 小川糸/著 幻冬舎

鳩子は亡くなった祖母から鎌倉にある文房具屋「ツバキ文具店」を引き継ぎます。「ツバキ文具店」では、文房具を売るだけでなく、手紙の代書を引き受けています。鳩子は丁寧に依頼者に向き合い、内容、相手にあわせて便箋や切手、文字を選んでいきます。鳩子のプロとしての仕事の様子を読んで、手紙を出したい誰かの顔が浮かぶかもしれません。



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野圭吾/著 角川書店

泥棒をし、逃亡中の敦也・翔太・幸平は、廃屋「ナミヤ雑貨店」に逃げ込みました。ところが、突然、シャッターにある郵便口到手紙が投げ込まれ…

ナミヤ雑貨店はかつて店主が悩み相談の手紙にこたえてくれることで有名だったのです。不思議な手紙のやりとりが、現在と過去を結んでいきます。



『文豪たちのラブレター』 別冊宝島編集部/編 宝島社

芥川龍之介、中島敦、太宰治、夏目漱石、森鷗外など、有名な文豪の書いたラブレターが紹介されています。文豪の作品からは想像できない可愛らしい文豪の一面をみることができます。ラブレターの参考になるかも!?



『いま、どこですか？ 往復書簡』 小澤征良・杏/著 新潮社

女優の杏と作家の小澤征良が旅先で綴った手紙のやりとりが載っています。旅先で手紙を出すのも楽しいかもしれません。



『戦国武将の手紙を読む 浮かびあがる人間模様』 小和田哲男/著 中央公論新社

大河ドラマや歴史の授業ではわからない戦国武将の一面を知ることができます。原文・読み下し文・現代語訳が載っています。あなたの手紙も後に貴重な歴史的資料になるかも!?



『あゆみ食堂のお弁当 23 人の手紙からうまれたレシピ』 大塩あゆ美/著

文化学園文化出版局

紙に書くだけが手紙ではありません。23 人の手紙の想いをのせたお弁当と 129 のレシピが載っています。あなたが普段食べているお弁当は誰かからの手紙なのかもしれません。